

戦略	発言者	提案内容	対応方針	担当部署
人口ビジョン	石川委員	合計特殊出生率の設定目標が高い。少し改善を見るにしてももう少し人口が減っていくという想定の中で、いろんな施策を検討された方がいいのではないか。	社人研の市町村別の推計が今年度中には出る見込みのため、それを踏まえ、縮小社会に対応していく取組でいいのか、人口増を目指した取組でいいのか、次期戦略策定時に見直しを行います。	政策企画課
基本戦略1 (産業)	沖田委員	(専門人材の活用促進) 広島銀行でも企業から相談を受けて、プロ人材の紹介については結構な実績がある。同じことを同じ方向でやっているのであれば連携を密にして一緒に取り組んではどうか。	包括連携協定締結の近畿大学やその他支援機関とともに専門人材の紹介等を企業へ行ってのに加え、お力添えいただけるのは大変力強くありがたい。是非お願いいたします。	商工労働課
基本戦略1 (産業)	渡邊委員	(製造業のDX) 企業がDXを導入することで、全く違う働き方にしていくという意識改革が大事だと思うので、導入することの意味をしっかりと企業の方にご理解していただくための取組をしてはどうか。	生産性向上のみならず、働き方改革の観点からも企業のDX導入は効果があるものと捉えており、市補助金を活用した事例を紹介する等して、企業へのアプローチを継続します。	商工労働課
基本戦略1 (産業)	石川委員	(リカレント教育) 中小企業ではリカレント教育のために時間を割くことが難しいため、取組を進める場合、人材への手当や土日に行った場合の支援などが必要ではないか。	中小企業のリカレント教育に対するニーズ把握が必要と考えます。ご提案のとおり、リカレント教育の時間や学べる環境づくりに、リスキリングも加えて「企業の継続・発展に必要な教育機会の確保」について、検討します。	商工労働課
基本戦略1 (産業)	渡邊委員	(リカレント教育) オンラインとかオンデマンドといった対面式ではないものもあるので、学びたいときに学べる環境を提供していくことも大事である。そこに着眼した取組をしてはどうか。		商工労働課
基本戦略1 (産業)	松宮委員	(IT企業の誘致) この制度はおそらくどの自治体もそろえているので、環境だったり、府中市ならではの魅力であったり、そこをうまく訴えかけていける取組をしてはどうか。	当市では令和3年度にサテライトオフィス制度を開始。ご提案を意識しながら他事例を参考・検討し、企業誘致の取組の一つとして、制度周知や必要に応じた制度見直しの検討を行います。	商工労働課
基本戦略2 (子育て)	石川委員	(子育て施策) KPIを「子育てステーションの利用者数」というより、府中で育てたいというニーズを数値化するなら「子育て世帯の転入者数」にしたほうが良いのではないか。	ご指摘のとおり、KPIについてはアウトプットよりも実質的な目標であるアウトカムの指標の方が望ましいため、次期戦略策定時に見直しします。	子育て応援課
基本戦略2 (教育)	小林委員	(CS) 役員以外の保護者はCSについてあまり知らないことから、もっと周知していく必要があるのではないか。	引き続き、学校と地域が力を合わせて特色ある学校づくりを進めるとともに、取組内容についての情報発信を強化していきます。	学校教育課
基本戦略2 (教育)	渡邊委員	(上下高校の魅力化) 引き続き地域の学びの場として上下高校をどうやって守っていくのかということを引き続きご検討いただきたい。	来年度は生徒の獲得に向けて新たな施策として通学費支援を行う予定であり、引き続き、上下高校の存続に向けて魅力づくりに力を入れていきます。	政策企画課 教育政策課
基本戦略3 (賑わい)	高橋委員	(教育旅行) 今後は都心部、海外といった修学旅行になることが予想されるため、修学旅行、教育旅行だけではなく、一般の人たちにもしっかりPRしていくことが必要ではないか。	コロナ禍において、教育旅行を中心に国内やマイクツーリズムといった旅行スタイルが主流となりましたが、コロナ禍が明けたことも踏まえ旅行者の動向を注視しながら対応を検討する必要があると考えています。	観光地域ブランド推進課
基本戦略3 (賑わい)	石川委員	(観光KPI) インバウンド向けの観光と国内向けの観光で目標を分けたほうが良いのではないか。	府中市観光振興ビジョン（令和2年度～6年度）では、「府中市観光の認知」「府中市の観光の魅力高める取り組み」「地域住民の愛着」を掲げており、今後取り組みを推進する中で、観光商品やターゲット層を明確にしていきます。	観光地域ブランド推進課
基本戦略3 (賑わい)	糸永委員	(翁座) 新しい翁座では見るだけでなく体験する場として活用してはどうか。活用方法については、多くの皆さんの意見をいただけるような発信をしてはどうか。若い人向けのイベントとか、食べ物とセットにした魅力づくりをしてはどうか。	翁座については、歴史的・文化的価値を保存しつつ、翁座本来の活用の姿である歌舞伎や落語のほか、地域の住民や教育における発表の場など多岐多様にわたる活用ができるよう整備していきたいと考えています。また、町並み保存・活用とも連動しながら地域の活性化を目指していきます。	観光地域ブランド推進課

戦略	発言者	提案内容	対応方針	担当部署
基本戦略3 (賑わい)	小川委員	(農業体験) 農業は365日働いていて、その余地を作ることが難しいので、やる気のある方に場所を提供することで代わりにやっていただける仕組みがあればいいのではないかと考えています。そのためには、情報収集・共有・発信といった仕組みが必要になりますので、関係機関と連携して有効な仕組みを検討します。	本市の産業は重要な地域資源であり、「地域」「人」「場所」など様々な資源を掛け合わせ、交流人口、観光商品、観光消費などに繋げていきたいと考えています。そのためには、情報収集・共有・発信といった仕組みが必要になりますので、関係機関と連携して有効な仕組みを検討します。	農林課 観光地域ブランド推進課
基本戦略3 (賑わい)	小川委員	(翁座) 毎年上下中学校が上下町でできる観光プログラムを作っていて、本年度は翁座を使った、着物を着て写真を撮る、お抹茶をたてていただくというプログラムを開発したところ。保護者にも人気があるが、子供たちは3年生で卒業してしまうことから、それを継承してくれる会社とか観光促進団体みたいなものを作ったら、持続して発信し続けられるのではないかと考えています。	翁座については、現在設計を進めておりますが、翁座が開館した暁には、これまで取り組んだプログラムや、地域の伝統文化を継承する場として多くの方に利用していただきたいと考えています。それを実現するためには、運営・管理組織や住民等との協力連携などの仕組みが必要になりますので、建物の整備と並行して仕組みづくりを構築します。	観光地域ブランド推進課
基本戦略3 (賑わい)	松宮委員	(移住促進) 府中市がどこのエリアを対象にするのか、首都圏なのかそれとも関西なのかといった取組の方向性を明確にしてはどうか。NEKIというアンテナショップから何か繋がりができないかと考えています。	本市の移住定住の取組みの現状としては、専門員の設置、移住支援金の給付、広島県、備後圏域の広域フェアへの参加など、一定のメニューは整備していますが、取組を推進するうえでのアドバンテージにはなっていないと考えています。広島県内の市町で唯一東京出店しているアンテナショップ「NEKI」の強みも含め幅広く検討していきます。	観光地域ブランド推進課
基本戦略3 (賑わい)	渡邊委員	(インターンシップ) ワンデーでなく、1泊2日のインターンシップや府中に泊まってもらって、色んな経験をすることで魅力を感じられるようにしたらどうか。	ワーキングホリデーとの一体的な実施や、受け入れる企業の工夫を促すなどして、学生等が府中市に関わることになる一機会として取り組みます。	商工労働課
基本戦略4 (安心安全)	小川委員	(マイタイムライン) 府中は災害は確かにあるけれど、かなりリスクの少ない市ということについて改めて感じていただけるような発信ができないかと考えています。	気候変動による風水害、断層による地震など日本全国いつでも甚大な災害が起きてもおかしくありません。いざというときの自助共助の取り組みをにつなげられるよう、ハザードマップによる危険個所の周知など防災意識の醸成に取り組めます。	危機管理課
基本戦略4 (安心安全)	渡邊委員	(マイタイムライン) 学校教育の中で取り入れていいアイデアであるし、地域の防災教育とか、いろんな観点で進めるといいのではないかと考えています。	引き続き、学校教育の場も含め、様々な場や機会を利用してマイタイムラインの普及促進を図ります。	危機管理課
基本戦略4 (安心安全)	渡邊委員	(地域への助成金) これからは一律であげるより、頑張ったところにプラスしてあげるのがいいのではないかと考えています。この制度設計についてはいろいろと考えるほうがいいので、引き続き検討していただきたい。	地域への一律の助成ではなく、各地域の課題に即した助成・支援となるよう、現地域へのヒアリングを基に制度設計に努めているところです。	総務課
基本戦略4 (安心安全)	石川委員	(就労支援) 介護が必要な家族を抱え、やむなく働くことができない方については、人材不足の観点からすれば働く場を確保する、補償していくということが必要なのではないかと考えています。	医療・介護・福祉サービス等による支援や、事情を抱える人材を受け入れる職場環境づくりといった複数の取組が機能することが必要であり、分野横断的に検討します。	商工労働課
基本戦略4 (安心安全)	渡邊委員	(要介護者の一時預かり) 子どもの一時預かりのような仕組みが考えられないかと考えています。	新たな仕組みを構築するのではなく、既存のデイサービスやショートステイといった介護事業者のサービスの活用で対応していきます。	介護保険課
基本戦略4 (安心安全)	沖田委員	(事業継承問題) 府中市にとって継承問題が今一番必要ではないかと考えています。次期計画でも必要な部分になるのではないかと考えています。	事業承継については、潜在的な重要課題と捉えています。市内事業所数を減らさない・廃業させないと同時に、若手経営者の育成にも取り組みます。	商工労働課
基本戦略4 (安心安全)	高橋委員	(オンライン診療) この中山間地域においては大事なことであり、大したことなく受けられるようなシステムづくりを進めていくべきではないかと考えています。	オンライン診療については、国の指針などに則った適切な診療を行うよう、医師会をはじめとした関係機関と連携して取り組みます。また、急な病気やけがの際に適切な助言等を行う体制の構築に向けて、広域市町で連携して推進します。	医療政策課
基本戦略5 (DX)	小川委員	(害獣駆除) ジビエ産業として犬ではなくドローンを使うことで、安全的にジビエを確保し、それを加工、販売までする6次化するようなシステムに対して、やりたい人を募集してサポートするような支援ができないかと考えています。	現在のところ市の独自支援はありませんが、国の支援制度などの紹介もできますので、詳しくは市の窓口にご相談ください。	農林課